

Blue Prismトレーニング ～ ハンズオン1事前準備 ～

Blue Prism株式会社

事前準備作業一覧

- ハンズオン1の実施に当たり、下記の事前準備作業をしてください

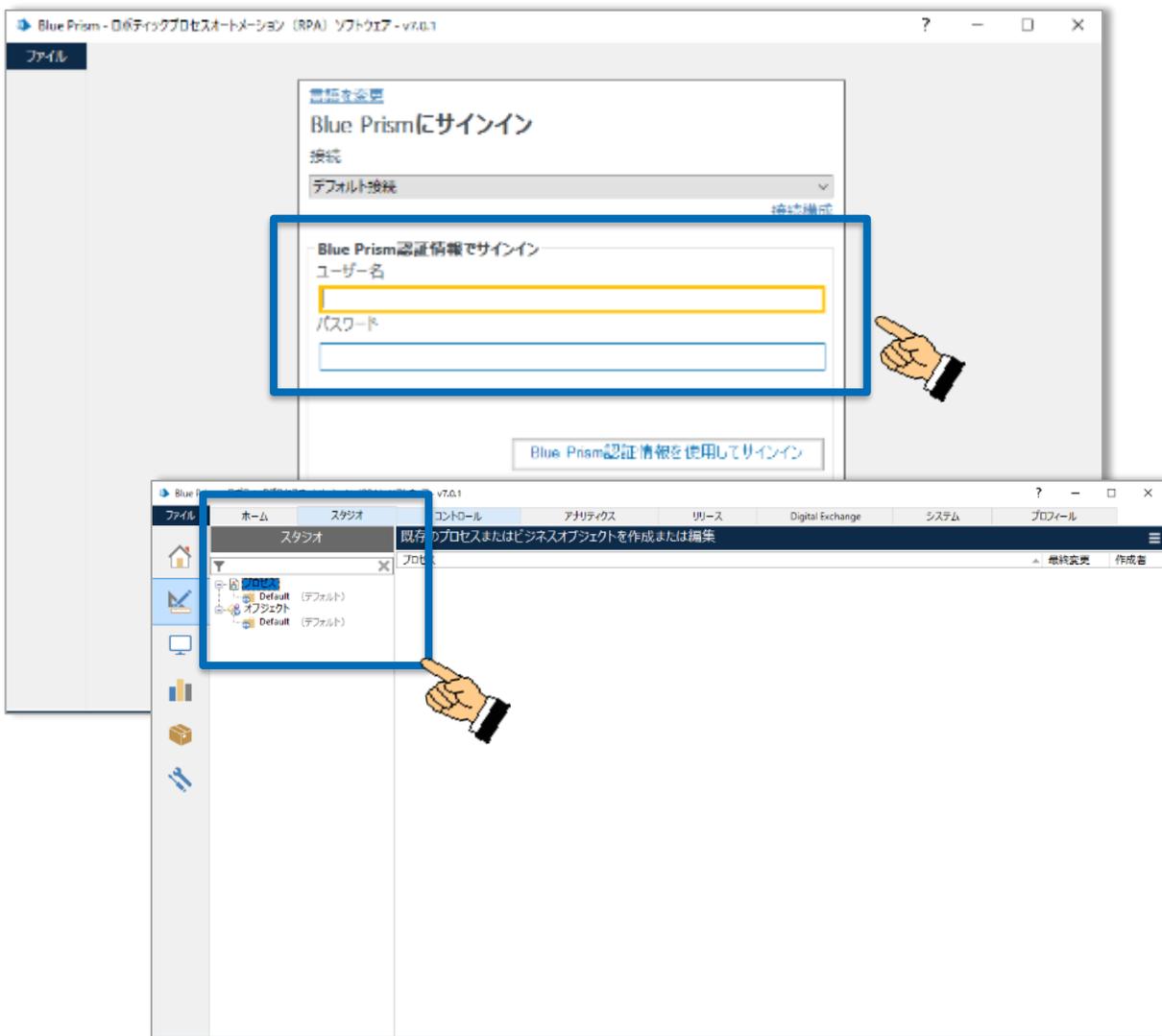
番号	事前準備作業	作業区分
1	Blue Prismへのログインが可能になっていることを確認	個別
2	事前の配布資料一式内の講習用ファイルの展開	個別
3	Microsoft ExcelとEdgeが操作可能であることを確認	個別
4	Microsoft Edgeの拡張機能の確認とオプションの設定変更	個別
5	Microsoft Edgeのシステムとパフォーマンスの設定変更	個別
6	Excel操作用の共通部品のインポート	共有

※作業区分が「共有」のものは、クライアント/サーバー環境においては、データが共有されるため、代表者のみの作業になります。

補足：ブラウザの拡張機能について

番号	内容
4.1	ブラウザ拡張機能の概要
4.2	ブラウザ拡張機能のインストール

1. Blue Prismへのログインが可能になっていることを確認

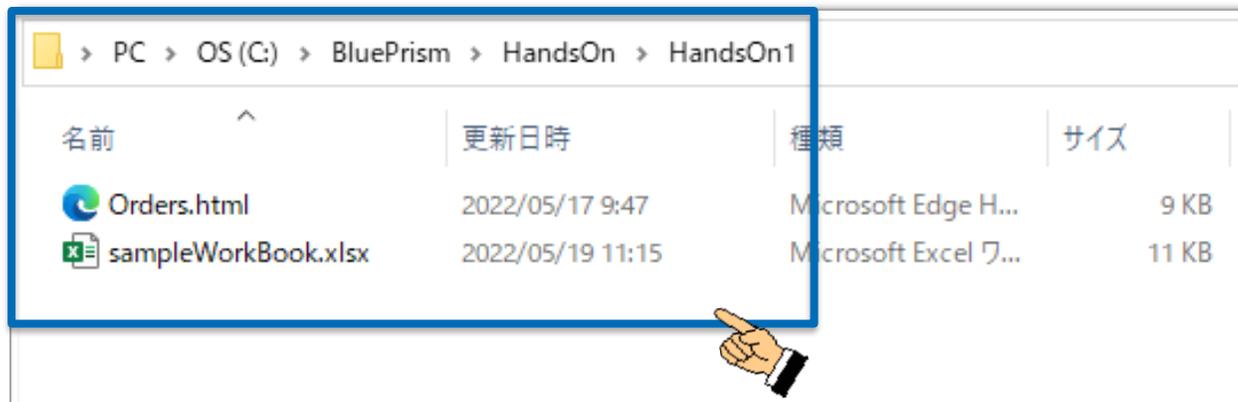


- ① ご利用PC端末において、Blue Prismのインストール(※1)が完了し、**Blue Prismへログインが可能となっていることを確認**します
- ② ログイン後のBlue Prismのトップ画面において、**スタジオメニューをクリック、操作可能になっていることを確認**します
(機能を使える権限が付与(※2)されている状態)

※1. **Blue Prismバージョン6系(6.9以降)をご利用の場合は**、追加の考慮事項がありますので、[こちらのサイト](#)をご確認ください。

※2. クライアントとサーバー環境ご利用の場合、各ユーザー様の権限設定は、「**開発者**」でお願い致します。

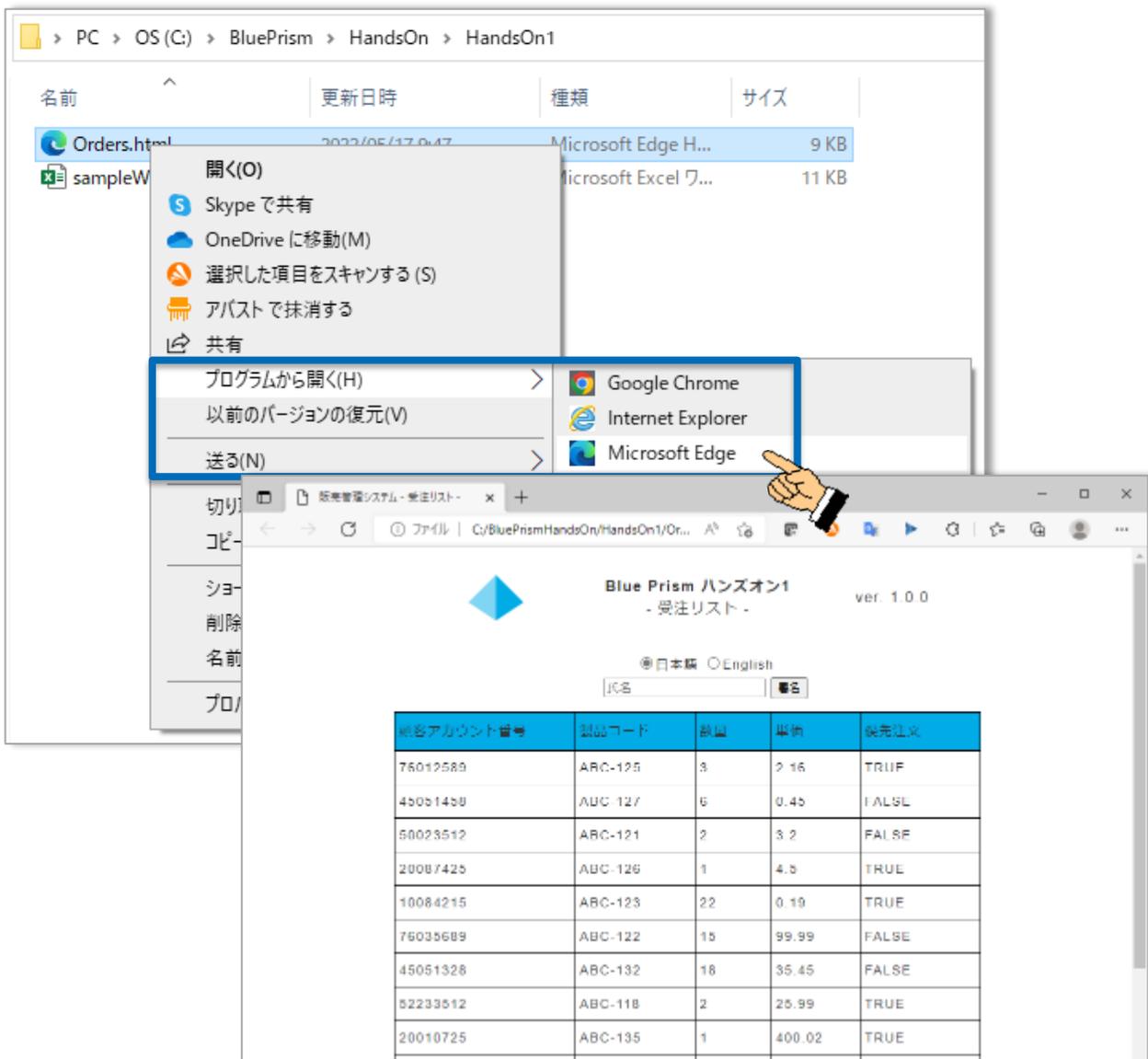
2. 事前の配布資材一式内の講習用ファイルの展開



- ① Cドライブ直下にハンズオン用のフォルダとして、「BluePrism」およびその直下に「HandsOn」を新規作成します
- ② 任意の場所で事前の配布資材一式を展開、「1.講習用設定ファイル」内の**HandsOn1.zip**を「C:¥BluePrism¥HandsOn」配下に配置、展開して、左記の構成であることを確認します

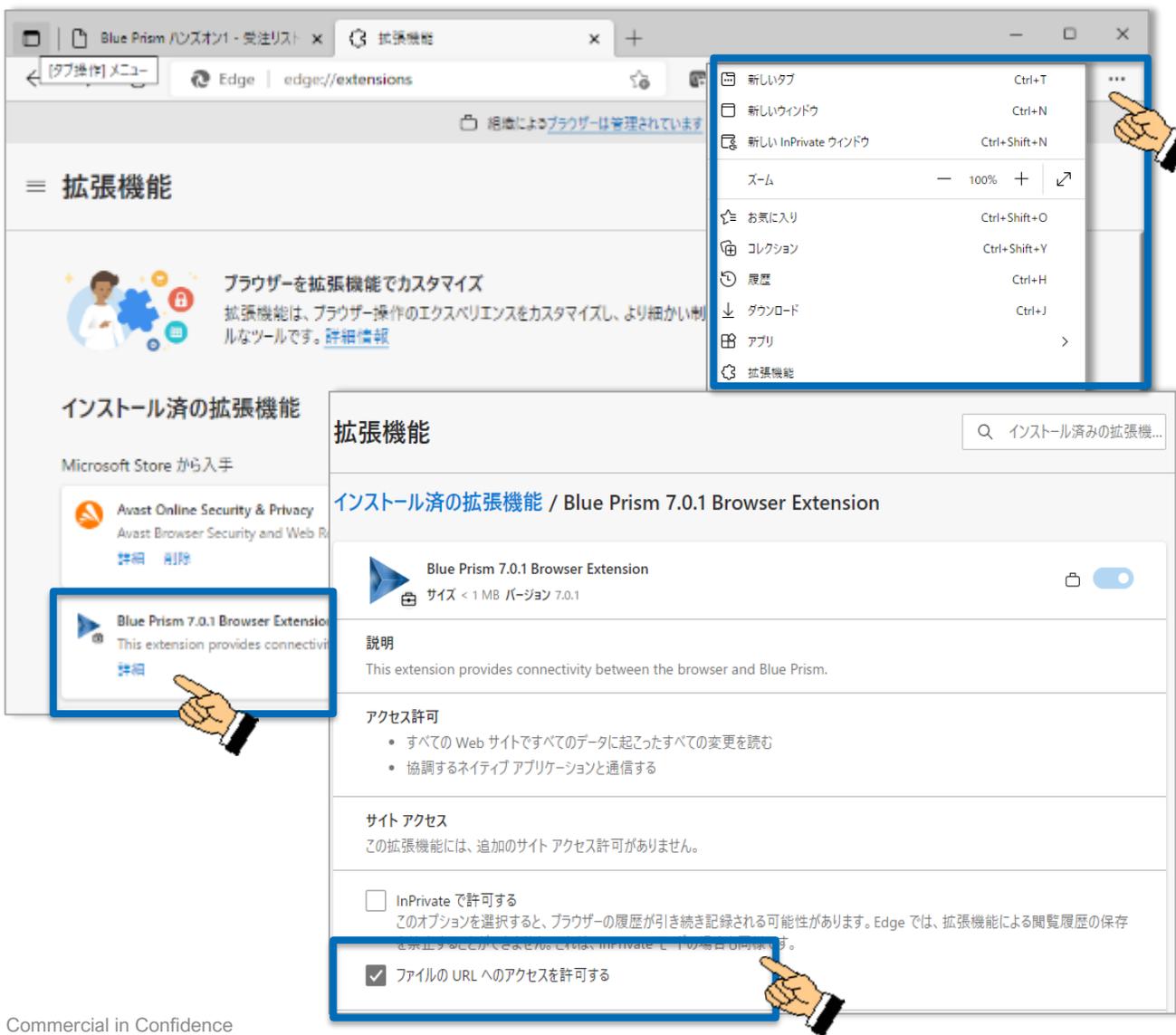
※当該ファイル群は、任意の場所に配置頂いても問題ございませんが、その場合、以降のハンズオン手順内で指定されているファイルパスの設定情報などは、読み替えて実施ください。

3. Microsoft ExcelとEdgeが操作可能であることを確認



- ① ご利用のPC端末において、Excelを起動、利用可能な状態であることを確認します
- ② 前項の作業「2」で展開した **C:¥BluePrism¥HandsOn¥HandsOn1¥Orders.html** ファイルがEdgeで起動出来る事を確認します

4. Microsoft Edgeの拡張機能の確認とオプションの設定変更



① Edgeの設定メニュー内の「**拡張機能**」の一覧に**Blue Prism X.X.X Browser Extension (※1)**があり、**有効になっていることを確認**します

※1. 通常はBlue Prismのインストール時に含まれております。詳細は、後続の[補足をご参照](#)ください >>

② Blue Prism Browser Extensionの詳細メニュー（拡張機能の管理）にある

ファイルの URL へのアクセスを許可するにチェックを入れ、有効化（※2）します

※2. 本ハンズオンでは、ローカルhtmlファイルをWebサイトと見立てて作業をするため、当該オプションの有効化が必要です。

5. Microsoft Edgeのシステムとパフォーマンスの設定変更



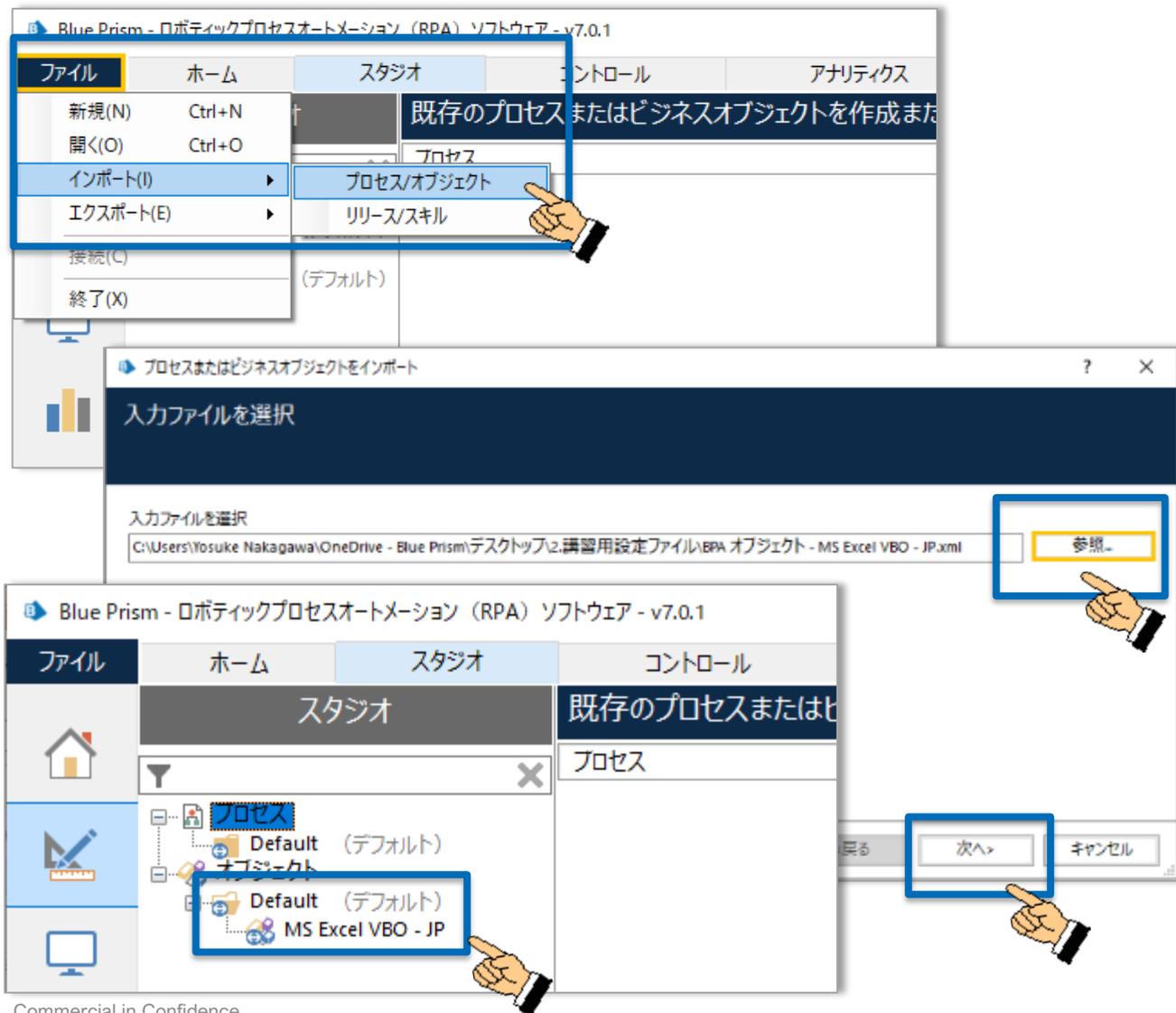
① EdgeのURLに
edge://settings/system
と入力し、システムの設定画面を表示します

② 「スタートアップ ブースト (※)」オプションを
無効にします

※バックグラウンドで実行し続けることで、Edgeの
起動スピードを向上させる機能になります。
詳細は、Microsoft社の[ヘルプ文書](#)をご確認ください。

当該設定の補足：
Edgeのプロセスがバックグラウンドで実行し続けら
れることにより、Blue Prismが自動化対象アプリ
ケーションを捕捉する際に識別が正常に行われなく
なるリスクを回避する事を目的としています。

6. Excel操作の共通部品のインポート



- ① ファイルメニューから
インポート > プロセス/オブジェクトを選択します
- ② 参照ボタンを押下し、下記のXMLファイルを選択します
ファイルパス：
事前の配布資料一式を展開頂いたフォルダ¥ハンズオン1¥2.講習用設定ファイル¥BPA オブジェクト - MS Excel VBO - JP.bpobject
- ③ 次へボタンを押下、**XMLファイルを取込み**ます

※クライアント/サーバー環境ご利用の場合は、代表者の方が当該作業を実施頂くことで、部品が共有されます。

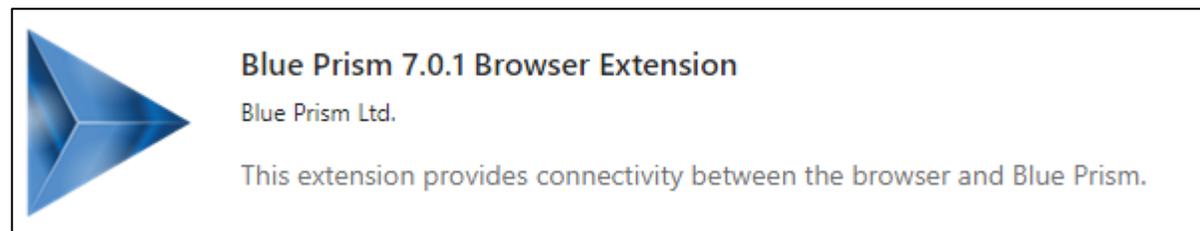
※過去にIE版に同梱されていた同VBOがある場合は、上書きで取り込んでください。

補足：ブラウザ拡張機能について

4.1 ブラウザ拡張機能の概要

#1. Blue Prismのブラウザ拡張機能とは

- Modern Browser(Chrome、Edge、Firefox)でアクセスされる**WebページやWebアプリケーションをブラウザモードでスパイする**ために、Blue Prism ブラウザ拡張機能 (Blue Prism Browser Extension) の**導入が必須**です。
- Blue Prism ブラウザ拡張機能は **Blue Prism とWebブラウザ間の接続を提供し、Webブラウザで表示されるアプリケーションやWebページの自動化**(データの交換や要素の操作)を可能にします。
- 以下のブラウザに対応した専用の**Blue Prism ブラウザ拡張機能**が提供されています。
 - Google Chrome
 - Microsoft Edge (Chromium版)
 - Mozilla Firefox



4.1 ブラウザ拡張機能の概要

#2. バージョン互換性の確認

Blue Prism/Browser Extensionのバージョンとブラウザのバージョンの互換性は、Blue Prismが動作検証を行った上で、定めているマトリックスをご提供しております。

ブラウザモードでの自動化を行う場合には下記マトリックスを確認し、互換性のあるバージョンで環境を準備してください。

Blue Prism version	Chrome		Edge Chromium		Firefox	
	Extension version	Browser version evaluated	Extension version	Browser version evaluated	Extension version	Browser version evaluated
7.0.1	7.0.1	96.x to 99.x	7.0.1	96.x to 99.x	7.0.1	94.x to 98.x
7.0	7.0.0	90.x to 99.x	7.0.0	90.x to 99.x	7.0.0	88.x to 98.x
6.10.4	6.10.4	97.x to 99.x	6.10.4	97.x to 99.x	6.10.4	95.x to 98.x
6.10.3	6.10.3	95.x to 99.x	6.10.3	95.x to 99.x	6.10.3	92.x to 98.x
6.10.2	6.10.2	91.x to 99.x	6.10.2	91.x to 99.x	6.10.2	89.x to 98.x
6.10.1	6.10.1	88.x to 99.x	6.10.1	88.x to 99.x	6.10.1	85.x to 98.x
6.10.0	6.10.0	86.x to 99.x	6.10.0	87.x to 99.x	6.10.0	84.x to 98.x
6.9.0	2.2.0	84.x to 99.x	2.2.0	87.x to 99.x	2.2.0	84.x to 98.x
6.8.1	2.1.0	84.x to 99.x	2.1.0	87.x to 99.x	2.1.0	84.x to 98.x
6.8.0	2.1.0	84.x to 99.x	2.1.0	87.x to 99.x	2.1.0	84.x to 98.x

※ 上記以外の旧バージョンに関する互換性や最新バージョンの情報は以下のページを参照してください。 <http://bpdocs.blueprism.com/browser-compatibility.htm>

4.2 ブラウザ拡張機能のインストール

※ブラウザ拡張機能 インストールに関する参照URL：
・Chromeブラウザの拡張機能 (blueprism.com)
・Edgeブラウザの拡張機能 (blueprism.com)
・Firefoxブラウザの拡張機能 (blueprism.com)

ブラウザ拡張機能をインストールする方法として、環境に応じて適用頂けるよう下記5パターンを提供しております。

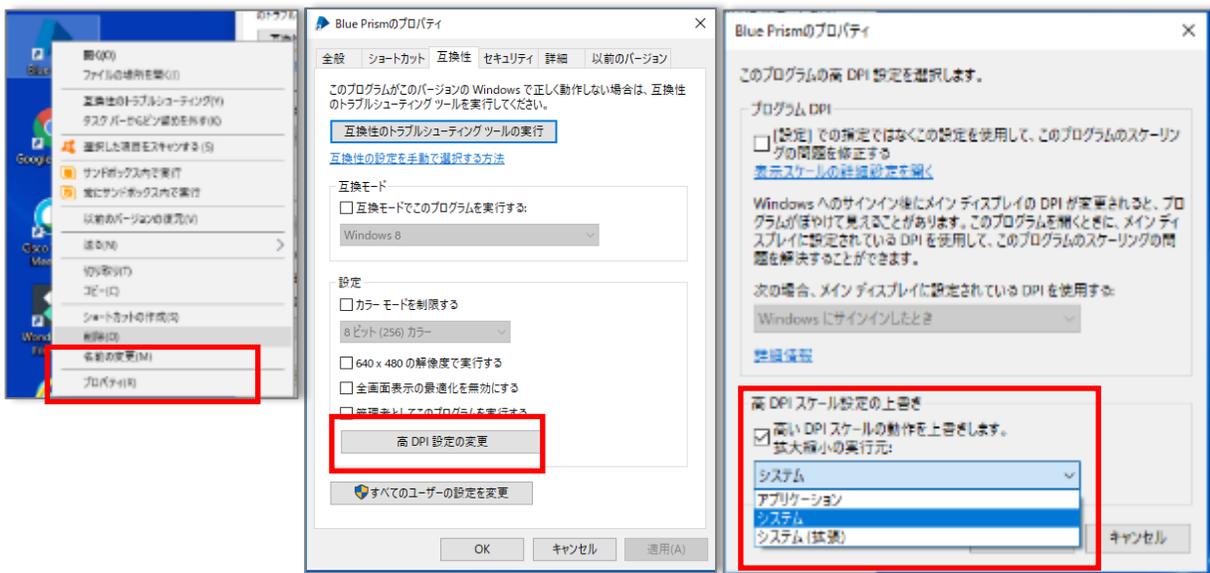
インストール方法	説明
1 Blue Prism インストーラー	Blue Prismのインストーラー画面の「高度なインストール」オプションからブラウザ拡張機能を選択してインストールします。 小規模な環境 でChromeとEdgeのブラウザ拡張機能をインストールする際の 最も一般的なインストール方法 となります。 ※WebブラウザがインターネットのWebストアにアクセス可能である必要があります。
2 コマンドライン	Blue Prismのインストーラーをコマンドラインから実行する方法です。デジタルワーカーの台数規模が比較的大きい環境において、スクリプトでのインストール、サードパーティ製のソフトウェア展開ツールによるインストールを行う場合に利用可能な方法です。スクリプトの実行方法は環境に合わせ検討する必要があります。 ※WebブラウザがインターネットのWebストアにアクセス可能である必要があります。
3 Webストア (ブラウザ提供元の会社が運営)	各Webブラウザの提供するWebストアからインストール実行マシンのログオンユーザー毎に拡張機能を手動で追加する方法です。Blue Prismで検索し、ご利用するバージョンと互換性のある拡張機能を追加いただきます。 ※WebブラウザがインターネットのWebストアにアクセス可能である必要があります。
4 オフライン	ダウンロード/インストールされた拡張機能のファイルを利用してオフラインのマシンやユーザー環境にブラウザ拡張機能をインストールする方法です。 インターネットに接続できないデジタルワーカーに対してブラウザ拡張をインストールするための唯一の方法 となります。 ※該当ブラウザ/ログインユーザーがインターネットにアクセスできない環境で利用します。
5 レジストリ配布	Blue Prismのインストーラーを使用してブラウザ拡張をインストールした際に追加されるレジストリキーをグループポリシーによるレジストリ適用やレジストリファイルのインポート等の方法で直接追加する方法です。 ChromeとEdgeはこの方法でブラウザ拡張機能のインストールが可能で、Firefoxはインストール不可能です。 Webブラウザの起動時にインターネットからブラウザ拡張機能をインストールするための指示をするレジストリキーを配布します。 台数規模が比較的大きい環境でグループポリシーやサードパーティ製の端末管理ツールを利用してレジストリキーを設定可能な場合 に利用可能な方法です。 ※WebブラウザがインターネットのWebストアにアクセス可能である必要があります。

SS&C | blueprism®

Appendix : トラブルシューティング

クライアント画面のフォントが異常に小さい、崩れている、重なっている場合

- Blue Prismのインタラクティブクライアント画面のフォントの大きさが部分的に大小が混在、重なってしまっている場合の対処法
 - WindowsのDPI設定スケールの設定変更により、当該事象を直せる場合があります



Windows 10の場合

- ① Blue Prismのショートカット> 右クリックして「プロパティ」を押下
- ② 「互換性」タブ> 「高DPI設定の変更」> 「高いDPIスケールの動作を上書きします。拡大縮小の実行元: 」にチェック
- ③ プルダウンで「システム」を選択

スパイモードでマウスのカーソルで当てた要素と認識される枠がズレている場合

- BluePrismのスパイモード起動時、マウスのカーソルで当てた要素と認識される枠がズレている場合の対処法
 - WindowsのOSのディスプレイ設定のテキストサイズ、解像度、対象アプリケーションがブラウザの場合は、ブラウザの拡大設定を調整することで補正が可能です

